

第 1 回 戸田市都市再生協議会

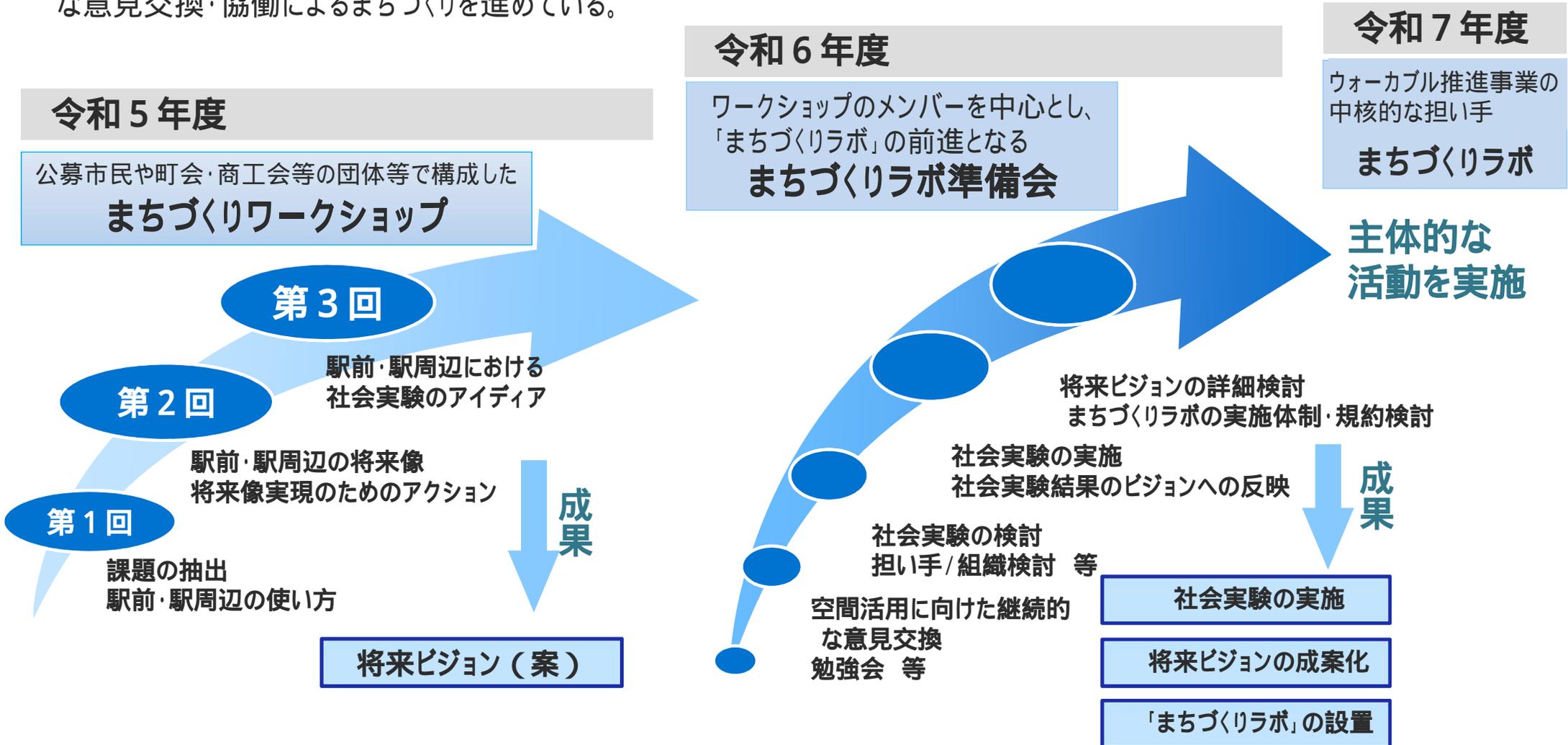
令和6年度戸田市ウォークブル推進事業の全体の流れ

令和6年 8 月 6 日

戸田市

これまでの経緯と今年度の進め方

- 昨年度は、現況分析及びワークショップ結果より、将来ビジョン（案）・都市再生整備計画の策定、ウォーカブルなまちづくりの概ねの方向性について取りまとめた。
- 今年度は、将来ビジョンの成案化を進めるとともに、地域住民・事業者・行政との連携による官民連携体制について検討するとともに、社会実験を通して北戸田駅周辺の空間活用を試行しながら、エリアごとの位置づけやそれらをつなぐ方策を検討する。
- また、具体的な空間活用の検討においては、ワークショップからより具体的に検討する「まちづくりラボ準備会」に移行し、継続的な意見交換・協働によるまちづくりを進めている。



令和5年度の都市再生協議会実績

- 昨年度は計3回の都市再生協議会を開催した。
- 第1回～第2回にかけて、主に将来ビジョンに関するウォーカブルエリアの設定、コンセプト及び基本方針、戸田市都市再生整備計画（案）について承認をいただいた。
- 第3回では、社会実験に向けた取組のイメージを報告するとともに、社会実験の実行に向けた官民推進体制となるエリアプラットフォームの構築について承認をいただいた。

	第1回 令和5年10月2日（月）	第2回 令和5年11月22日（水）	第3回 令和6年2月29日（木）
議題	<ul style="list-style-type: none">• 将来ビジョン（案）について<ul style="list-style-type: none">➢ 対象エリアの考え方➢ 将来ビジョン（コンセプト・基本方針）の考え方	<ul style="list-style-type: none">• 北戸田駅周辺まちなかウォーカブル将来ビジョン（案）【修正版】について• 戸田市都市再生整備計画（案）について	<ul style="list-style-type: none">• 北戸田駅周辺まちなかウォーカブル将来ビジョン（案）【修正版】について• 次年度以降の官民推進体制及び取組方針について
主な承認事項	<ul style="list-style-type: none">• ウォーカブル事業の対象区域• 将来ビジョンのコンセプト・基本方針の考え方	<ul style="list-style-type: none">• 将来ビジョンのコンセプト・基本方針及びエリア別の将来像・取組の方向性• 戸田市都市再生整備計画（案）	<ul style="list-style-type: none">• 将来ビジョンの「官民連携による街並み誘導」の記載内容• 将来ビジョンの基本方針のエリアマップ• エリアプラットフォーム構築

今年度の取組みの方向性

今年度は、以下の3点の内容について取組んでいく。

1

官民連携の
枠組みの形成

2

社会実験による
空間活用の実践

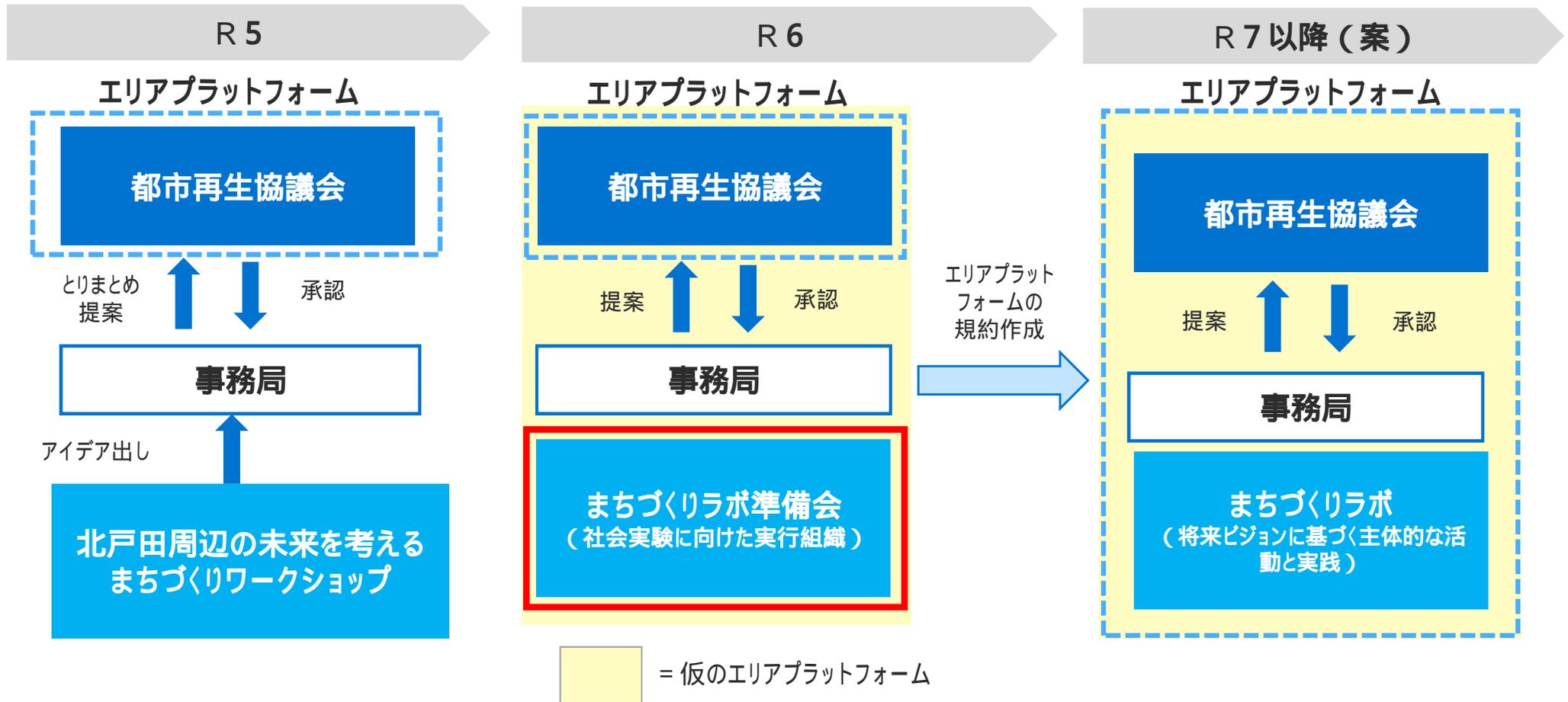
3

将来ビジョンの
策定

官民連携の枠組みの形成 / 今年度の実行体制

- 昨年度の体制において、公共性を担保しつつ、柔軟なアイデアを創出する仕組みとして十分に機能したことから、引き続き、意思決定組織（都市再生協議会）と検討・実働組織（戸田市まちづくりラボ準備会）の2段構成で進めていく。また、この2つの会議体を合わせて「エリアプラットフォーム」に位置付けることで、今後の社会実験等の活動をより実効性が高い体制とする。
- 「戸田市まちづくりラボ準備会（以下、「まちづくりラボ準備会」という。）」は、まちづくりワークショップの体制を引き継ぎ、今年度の社会実験の実行部隊となる。
- 今年度の取組みを通して、来年度以降、主体的な活動を行う「（仮称）まちづくりラボ」の組成を検討・具体化していく。

まちづくりラボ設立に向けた組成ステップ



官民連携の枠組みの形成 / まちづくりラボ準備会の位置付けと役割

- まちづくりワークショップの進化版である「まちづくりラボ準備会」は、取り組み内容に合わせて随時メンバー募集を行う。
- 令和6年度前半は、空間活用（社会実験）を推進するメンバーを中心に活動予定。

まちづくりラボ準備会

都市再生協議会

設置目的

- 北戸田駅周辺の賑わい創出を行う「（仮称）まちづくりラボ」の前身として、自主的に活動していくための構成や事業内容を検討するため。
- 自分事として将来のまちづくりを考える・共有するため。
- やりたいこと/できそうなことを具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考えるため。
- ラボを通じて、仲間づくりやまちづくりに関わることの楽しさ・達成感につなげていくため。

【今年度の活動内容】

- 将来ビジョンの検討及び施策等への意見出し
- まちづくりラボの規約の検討
- 社会実験の検討及び実施

- 将来ビジョン及び都市再生整備計画の作成に関し必要な協議を行うため。

- 将来ビジョン及び社会実験の承認

役割

- 北戸田駅周辺のまちづくりを進めるためのアイデアや多様な人材交流を生み出す「場」。
- 公共空間の活用策を検討し、社会実験の企画～実行まで一体的に実施する主体。
- 将来ビジョンの検討・施策等への意見出し

- まちづくりラボ準備会からの発案（主に社会実験・将来ビジョン）に対する承認等の意思決定を行う。

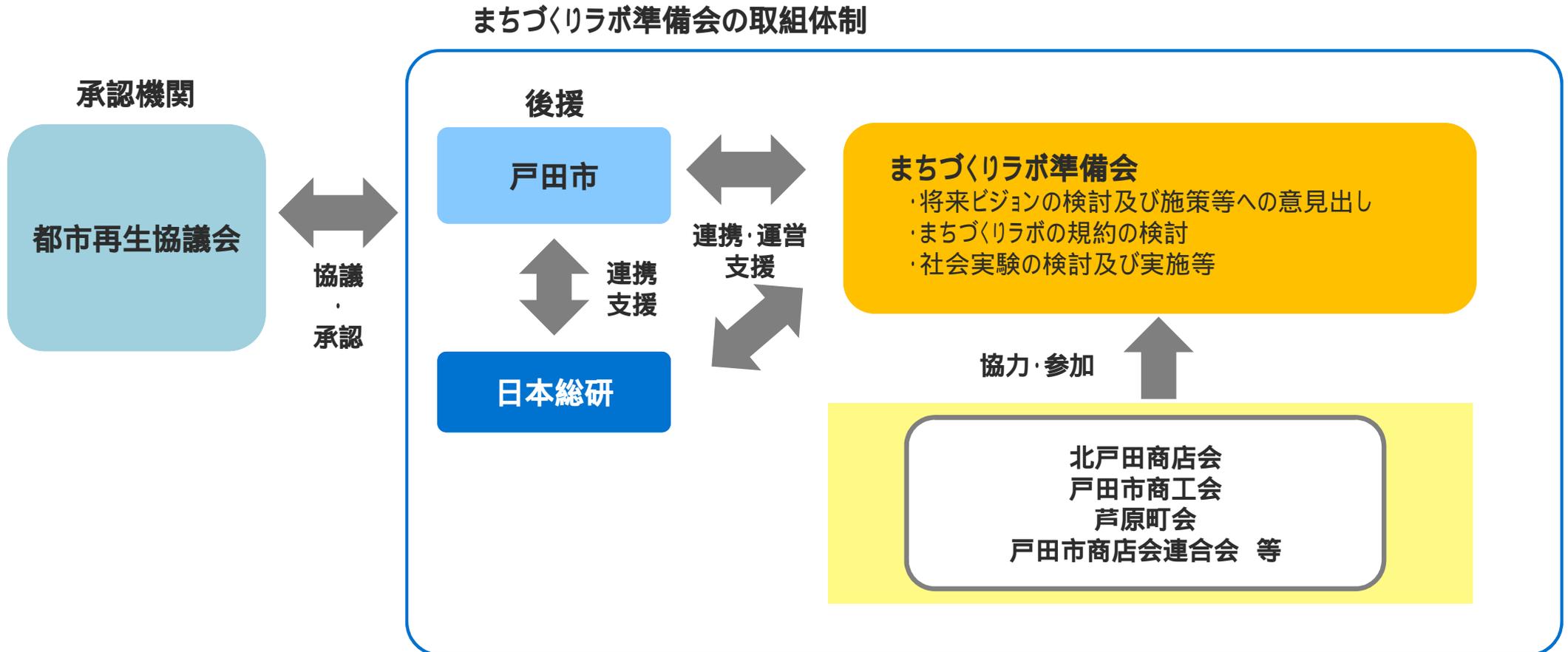
メンバー構成

- ワークショップ参加者を中心に、まちづくりに関心を有する市民、地元企業、地域活動団体からも参加を募ります。
- 10～20人程度を想定。キーパーソンを中心に人材の裾野を広げていきます。

- 戸田市商工会、芦原町会、戸田市商店会連合会、戸田市商店会、戸田市、埼玉県、埼玉県警、学識経験者

官民連携の枠組みの形成 / まちづくりラボ準備会の取組体制

- まちづくりラボ準備会は、空間活用に関する意見交換しながら社会実験で実施するイベント企画・実施主体であり、戸田市は後援の位置付けとなる。
- 参加者の得意分野やコネクションを活かしながら、その他の関係団体・企業等も、イベントへの出店・企画協力・広報等、可能な範囲で協力・参加いただくこととした。



官民連携の枠組みの形成 / 現状課題と対応

- 持続的な取組みのためには、行政及び将来的な民の主体「（仮称）まちづくりラボ」との連携により、**将来ビジョンの実現に向けた取組を実施しながら、まちづくりの自走を目指す組織構築が理想である。**
- しかし、本事業での検討が昨年度に始動したばかりであることを踏まえ、社会実験の企画・運営を通じたエリアプラットフォームでの対話・空間活用を継続的に行い、地域の機運を高めながら、将来ビジョン実現のための官民連携体制と役割分担を検討することで持続的な取組みにつなげていく必要がある。

課題と取組みの方向性

「ラボの運営チーム発掘」

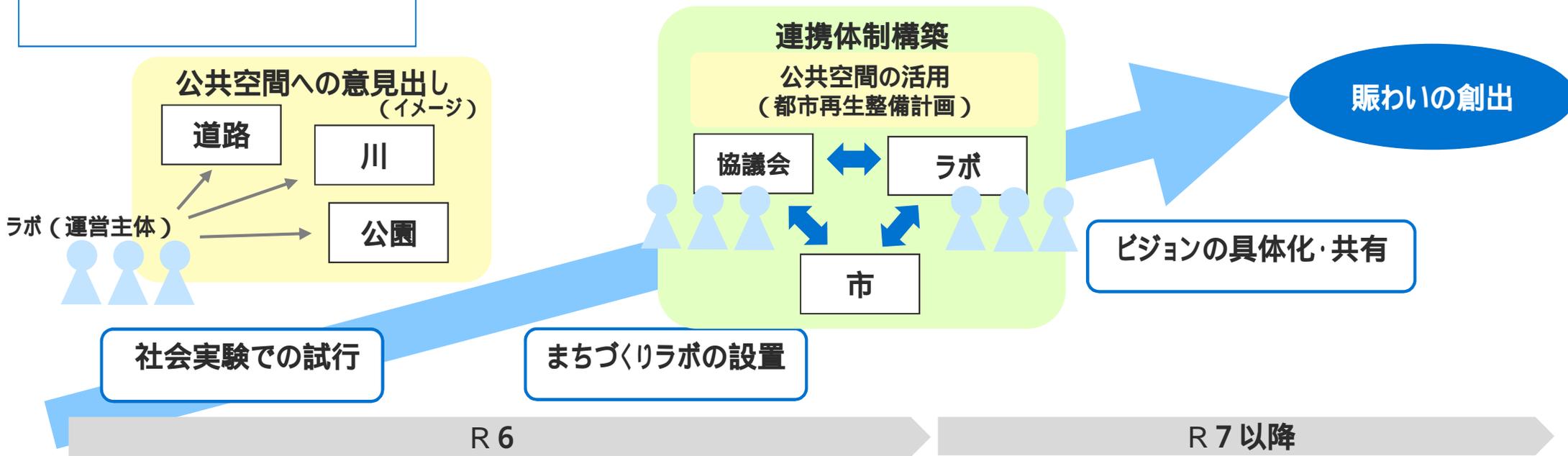
- 連携体制を組む主体である「民（まちづくりラボ）」の育成が必要である。
- 社会実験を通じて、公共空間活用への意見出しを試行する。

「将来ビジョンの成案化」

- 「民（まちづくりラボ）」の意見を取り入れながら、将来ビジョンの実現について具体的に取り組んでいく必要がある。

「将来ビジョン実現のためのロードマップ作成」

- 官民連携体制にて具体的な取組を示すロードマップ等作成が必要である。
- エリアプラットフォームにて引き続き都市再生整備計画の進行を図る。



社会実験による空間活用の実践

- 令和6年度の社会実験は、北戸田駅周辺をウォークアブルな空間とする「将来ビジョン（案）」を実現するために行うものです。
- 現在活用可能な公園や道路などの公共空間の活用の試行を通じて、「空間の使いこなし」「まちで活動する仲間づくり」「取り組みを知ってもらう」ことを目的とし、楽しみながら取り組みの具体策を検討していきます。

空間の
使いこなし

まちで活動する
仲間づくり

取組を
知ってもらう

詳細は【資料2】で説明いたします

将来ビジョンの策定 / 将来ビジョンの構成イメージ

- 将来ビジョンの構成イメージは以下の通り。
- これまでのワークショップや都市再生協議会におけるご意見に加えて、まちづくりラボ準備会における社会実験実施・検証を通じたブラッシュアップも行いながら成案化を進めていく。

将来ビジョンの構成

大項目	中項目	記載概要
ビジョンの趣旨・背景	1) ビジョン策定の趣旨・背景	• 冒頭のメッセージとして、将来ビジョン策定の趣旨を示す。
	2) ビジョンの位置づけ	• 上位・関連計画での位置づけを示す。
	3) まちなかウォークアブルとは	• 国土交通省資料等を参考にまちなかウォークアブルの定義についてコラム的に紹介する。
対象エリア	1) 対象エリア	• 対象となるエリアを図示するとともに、エリア設定の理由を示す。
現況・課題	1) 現況分析	• 基礎調査データから、課題・方針設定に必要なデータを図表なども用いながらわかりやすく整理する。
	2) 課題整理	• コンセプトにつながる課題をわかりやすく整理する。
将来ビジョン	1) コンセプト、基本方針	• WSの意見等を踏まえまちの特徴にあった分かりやすいコンセプトとする。
	2) 基本方針のエリアマップ	• 基本方針をエリアマップに落とし込んだうえで整理し、示す。
エリア別の将来像 取組イメージ	1) エリア別の将来像・ 取組イメージの整理	• ウォークアブルなまちの動線・ゾーニングを示すとともに、高架下空間や交流広場など、活用可能と考えられるエリア別の方向性と取組イメージを示す。
	2) 取組案の優先度判定	• 取組イメージについて、基本方針のうちの重点方針との整合性や早期の実現可能性から評価し、優先的に取組む事項を抽出する。
実施体制	1) 実施体制の構築・スケジュール	• 官民連携での意思決定の方策・枠組み、想定スケジュールを示す。

(参考) 将来ビジョン (コンセプト案・基本方針)

- 現時点における、将来ビジョンのコンセプト案・基本方針は以下の通り。

コンセプトの構築に向けた方向性

新しいチャレンジを応援し、育んでいくことで
街並みと人が変化し続ける楽しみのあるまち、北戸田

基本方針

優先的に取り組む
重点方針

| 重点方針 駅周辺における創造・チャレンジの場創出によるまちなかを歩きたくなる、魅力的なコンテンツやにぎわいの形成

- 賑わい創出 | 多様な世代が楽しめる施設の誘致、イベント開催によるにぎわい創出
- 健康の促進 | 歩きたくなるまち並みやスポーツ・アクティビティできる場所の創出による健康増進
- 市場形成 | 誰でもチャレンジできる、ユーザーも楽しめる場を作ることによる、市内の経済活動の活性化
- 多世代交流 | イベント等による市民・企業・行政の交流を通じたコミュニティ形成、シビックプライドの醸成、地元定着
- 官民連携による活力向上 | 市民意見に基づき、イベントや取組等のアイデアを官民連携にて効果的に創出・実現

基盤となる方針

| 基盤方針 安全で快適な交通結節点や移動・滞在空間の形成

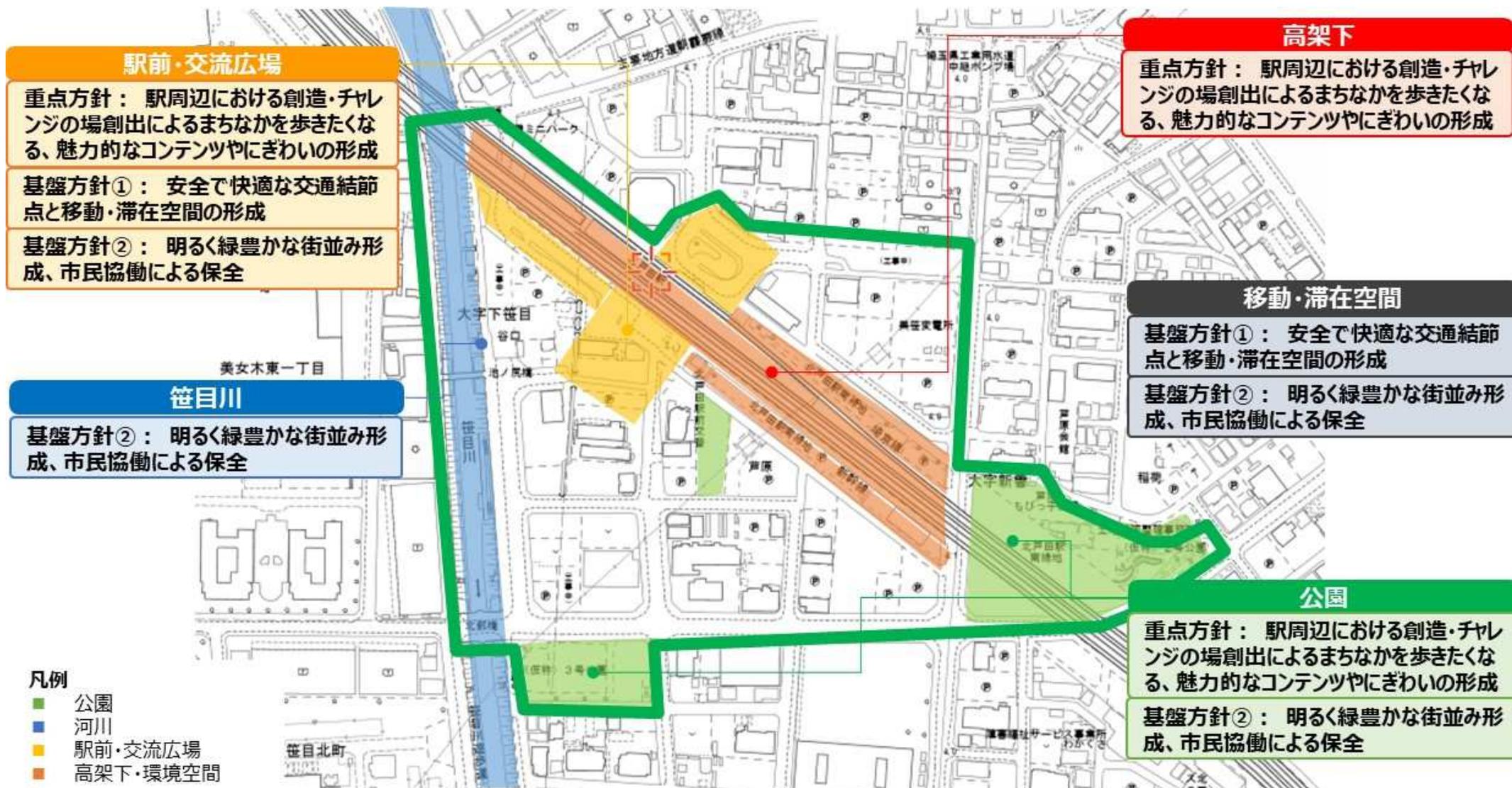
- 安全・安心 | 歩行者、自転車、自動車の空間が適切に分担され、夜でも明るく、安心して行き交える空間
- 快適性 | まちなかで休憩・滞在できるテーブル・ベンチや、夏でも快適に歩ける緑空間の整備・維持管理

| 基盤方針 明るく緑豊かな街並み形成、市民協働による保全

- 空間デザイン | 市民のアイデアや取組みが公共空間整備に反映される枠組み
- 維持管理 | 公共空間の持続可能な市民参画型維持管理

(参考) 将来ビジョン (基本方針のエリアマップ)

- 現時点における、基本方針のエリアマップは以下の通り。



出所：戸田市都市計画図「いいとだマップ」より引用

事業全体スケジュール

- 今年度は、将来ビジョンの成案化を進め、当該ビジョンに基づき官民連携の枠組み形成や空間活用に向けた社会実験を進めていく。
- エリアプラットフォームや社会実験を契機に、積極的に事業を担う主体を構築しつつ自主的に交流事業が実施できるよう、活動の定着を図る。

ウォークアブル推進事業の想定スケジュール

		R6			R7	R8	R9	R10
		上期	中期	後期				
官民連携 の枠組み 形成	まちづくりラボ準備会	立上げ準備	開催					
	まちづくりラボ立上げ		規約等の検討	実施体制検討	組成	エリアプラットフォームに基づく主体的な活動		
空間活用（社会実験）		企画立案体制構築	準備	実施	実施結果 まとめ・効果 検証			
将来ビジョンの策定			成案化					
都市再生協議会			1	2	3			
都市再生整備計画		計画の遂行						
空間整備	交流広場	設計			整備実施	交流事業		
	その他空間	整備方針の検討				整備実施（順次）		

戸田市都市再生協議会の開催概要

- 今年度の戸田市都市再生協議会の開催概要は以下の通り。
- 本日は、まちづくりラボ準備会の活動結果を踏まえつつ、社会実験の方針を報告し、審議いただく。
- 今後、第2回から第3回にわたり、社会実験の実施報告、まちづくりラボ実施体制、将来ビジョンの最終案の報告・承認を予定している。

